

八郷地区統合小学校基本構想（案）に対するパブリックコメント結果

実施時期：令和8年3月24日（火）～令和8年4月9日（木）

募集方法：応募フォーム・メール・意見箱投函

意見数：7名 16項目（応募フォーム6名・意見箱投函1名）

【意見区分】

ア 意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

イ 今後の展開の参考とするもの

No.	大項目	中項目	内容（要約）	意見区分	回答
1	2章 与条件整理	2-1 計画地	バスロータリーを広く確保するよりも駐車スペースの方を広くしたほうが良いのではないか。	ア	8校の小学校が統合されることから、一定数のスクールバスが必要であると考えております。今後スクールバス必要台数を精査しつつ、バスロータリー及び駐車場が快適に使用できるような規模で精査してまいります。
2	2章 与条件整理	2-1 計画地	遊具スペースが遠いと移動するのに時間がかかってしまうので、小学校の校舎に近いところに作ってほしい。	ア	遊具スペースにつきましては、昼休みなどに安全に遊ぶことができる広場として設置を考えております。児童の移動に係る時間や動線、休み時間などを考慮し、今後の設計段階で配置案を検討していきます。
3	2章 与条件整理3章 建設コンセプト	2-3-2 特別教室等の検討 3-3-4 特別支援学級	特別支援教室の対象を「知的・情緒・肢体不自由」だけでなく「日本語学習支援」も入れたほうが良いのではないか。	ア	石岡市教育委員会としても、整備方針に「特別支援教育の充実と、多様性を尊重し、誰もが居場所を感じられる環境づくり」と定めているように、児童生徒の支援体制の充実は重要であると考えております。今後の参考意見とさせていただきます。
4	2章 与条件整理	2-3-3 管理諸室及びその他の検討	教職員の先生たちが、一堂に会して研修できるようなスペースがあると良いと思う。	ア	石岡市教育委員会としても、小中一貫校として教員同士の交流や連携は大切であると考えております。スペースを設けるかなどについては、今後の設計業務の段階で精査してまいります。
5	2章 与条件整理	2-3-4 屋内運動場等の検討	体育館が大きくなるのは、小中学校の生徒全員が一度に集まれるという意味で良いと思った。文化的な使用（コンサートや演劇など）や避難所としての使用を考慮し、体育館および体育館内のトイレの音響面に配慮した設計にしてほしい。	ア	体育館については、学校教育としての使用のほか、地域への開放や災害時の避難所としての利用を考慮し、今後の設計業務の段階で精査してまいります。

No.	大項目	中項目	内容（要約）	意見区分	回答
6	2章 与条件整理	2-4 屋外施設の検討	校内に菜園と菜園近くにシェード（日陰が作れる場所）があると、食育や命の循環を学ぶこともできるうえ、新設の学校の特色として、都市では決して真似できない特徴にもなると考える。 校内に木陰を作る木を植え、日陰を作る工夫や、窓にはグリーンカーテンを設置できるようにしてほしい。	イ	石岡市教育委員会としても、児童生徒が休息できる場所は大切であると考えております。また、整備スローガンにおいても「自然と郷土に学ぶ」という言葉を取り入れており、食育についても大切であると考えております。今後の設計業務の段階で精査してまいります。
7	2章 与条件整理	2-4 屋外施設の検討	野外に地域の人も交われる交流スペースがあるといいと思う。	イ	整備方針に「地域の暮らしや文化、自然とつながる、いきいきと輝く学校づくり」と設けておりますように、地域との交流は大切であると考えております。今後の設計業務の段階で精査してまいります。
8	2章 与条件整理	2-4 屋外施設の検討	屋根と駐車場にソーラーパネルを設置し、学校で使用する電気をまかないつつ、非常時に独立して利用できる設計にしてほしい。新設の小学校部分だけでも、ZEBを目指してほしい。	ア	CO ₂ 削減を目的としたエネルギー消費量の削減に取り組みたいと考えております。今後の設計業務の段階で精査してまいります。
9	2章 与条件整理	2-4 屋外施設の検討	新設予定のプールは、夏休みに楽しいと感じられるような設備等を設置してほしい。非常時には浴室機能を果たせるような設計にしてほしい。太陽熱温水器、太陽光パネル等で、ゼロカーボンのプールを作してほしい。	イ	現段階では、プール建設の時期につきましては未定となっております。頂きましたご意見につきましては、今後プール建設を検討していく際に参考とさせていただきます。
10	2章 与条件整理	2-4 屋外施設の検討	八郷には児童館もなく、学童に行っていない子供達が放課後を安全に自主性を持って過ごせる場所がないため、高校生までが過ごせるような設備を備えた放課後解放された施設がほしい。	イ	地域における児童の遊び場である児童館などの施設の需要については承知しておりますが、高校生までが過ごせるような施設の設置を敷地内にするかどうかについては、精査が必要になると考えております。

No.	大項目	中項目	内容（要約）	意見 区分	回答
11	3章 建設コンセ プト	3-3-2 ラーニングコ モンズ	ラーニングコモンズ含め、多様な環境を生み出せる設計を期待している。	ア	石岡市教育委員会としても、個別最適な学びと協働的な学びの両立、探究学習やSTEAM 教育などに発展できる空間づくりは大切であると考えております。具体的な空間構成等については今後の設計業務の段階で精査してまいります。
12	3章 建設コンセ プト	3-3-4 特別支援学級	小学校には校内フリースクールがないため、設置を提案したい。設置することで教室に入ることが困難な児童が、心理的安心感を持って1日を過ごせる「居場所」を確保してほしい。	ア	石岡市教育委員会としても、整備方針に「特別支援教育の充実と、多様性を尊重し、誰もが居場所を感じられる環境づくり」と定めているように、児童生徒の支援体制の充実は重要であると考えております。今後の参考意見とさせていただきます。
13	4章 参考資料	4-1 アンケート調 査分析結果	アンケート上位にあった小学校のエレベーターは先生の負担軽減やバリアフリーの観点から必要なのであれば仕方がないが、あまり必要性は感じられない。	ア	施設の設備につきましては、アンケート結果だけでなく、教職員やバリアフリーの観点等多様な視点から検討してまいります。
14	4章 参考資料	4-1 アンケート調 査分析結果	人口が少なくなっていくからこそ、この小学校が移住のきっかけともなるような魅力のある建物の構造・そしてこのエリアの独特なカリキュラムや体験など特色のある学校作りを目指してほしい。この小学校の建設が地域の活性化になるような内容になることを願っている。	ア	整備スローガンに掲げております通り、八郷の自然やふるさとに関する学習は統合小学校でも大切にしていける必要があると考えております。八郷地区の特色を生かした統合小学校の建設を目指します。
15	その他	-	スクールバスの利用基準は「小学校は通学距離4km以上（中学校は6km以上）」となっているが、通学距離が3～4kmの場合、児童の歩行では通学に約1時間程度を要することも想定される。近年は、登校の時間帯においても気温が30℃を超える日が見受けられ、このような気象条件下では、児童の健康面・安全面において大きな懸念があるため、柔軟な運用について検討を希望する。	イ	石岡市教育委員会としても、近年の気温上昇により、登下校時の熱中症リスクは深刻化してきている状況であることから、様々な対策が必要であると考えております。今回の基本構想の策定に直接関するものではございませんが、今後の参考意見とさせていただきます。

No.	大項目	中項目	内容（要約）	意見 区分	回答
16	計画全体に対する意見	-	市民参加で積み重ねてきた意見を生かすためにも、今後は工程だけでなく、財政面を含めた実施可能性について、より明確な説明を求める。 これまでの議論やワークショップが形式的なものに終わることのないよう、責任ある計画策定と着実な事業推進を強く願う。	イ	八郷地区小学校の再編統合につきましては、児童数など状況の変化を踏まえ令和7年1月に計画見直しを行ったところでございますが、今後計画を進めていくに当たりましては、これまでの議論やワークショップをもとに、地域の皆様に経過を随時お示ししながら事業を進めてまいります。